

※本プレスリリースは、現地時間 2019 年 9 月 11 日にドイツ・ハノーバー市で発表した内容の参考訳です。万が一、英文原文と意味合いが異なる部分がある場合には英文が優先されます。

2019 年 9 月 17 日
コンチネンタルタイヤ・ジャパン株式会社

未来のタイヤをデザインする、コンチネンタル

- 「Conti C.A.R.E.」が未来のモビリティのための技術ソリューションを提供
- ホイールとタイヤの電動化とコネクティビティが持続可能なタイヤ管理を可能に



今年のフランクフルトモーターショー (IAA) において、コンチネンタルは、包括的な技術システムの「Conti C.A.R.E.」(コンチ・ケア)を発表します。「Conti C.A.R.E.」(Connected: 接続、Autonomous: 自律、Reliable: 信頼、Electrified: 電子化)は、ホイールやタイヤ技術のネットワークを緻密に調整し、求められる性能特性の管理がしやすいことを表しています。これらの特性は、個々のモビリティあるいはシェア・モビリティのシナリオ双方において、電気、自動運転の要件とも綿密に連携しています。ウェブベースの ContiConnect Live(コンチ・コネクドライブ)アプリと連動することで、Conti C.A.R.E.は、コストを最適化するだけでなく、パフォーマンスを向上するなど、最新のロボタクシー車両向けにタイヤ管理の手段を提供する柔軟なシステムソリューションを構築します。

Conti C.A.R.E.タイヤは、タイヤ構造内に組み込まれたセンサーが特徴で、そのセンサーが、トレッドの溝深さや損傷の可能性、タイヤ温度と空気圧に関するデータを生成し、継続的に評価します。ContiSense(コンチ・センス)と名付けられたこの監視システムが、タイヤの状況に関する情報を ContiConnect Live に送信し、車両管理者がモビリティの管理を効率的に行えるようになります。

もう1つの革新的なアイデアは、ホイールに組み込まれた遠心ポンプを活用して空気圧を能動的に調節するシステムです。車両が加速すると、ホイール内の遠心力がポンプに作用して、圧縮空気を生成します。この耐

圧技術は、タイヤの空気圧を常に最適な範囲内に保ち、CO₂ 排出量の持続可能な減少を達成するのに役立ちます。余分な圧縮空気は一体型タンクに保管されますが、増圧技術により、この空気は、さまざまな運転状況に応じてタイヤ空気圧を即時に調節するために使用されます。

サイレント・ホイールコンセプトでは、運転時に発生する振動を軽減して優れた乗り心地を提供する、改良されたホイールリムが紹介されます。

【コンチネンタル社について】

コンチネンタルは、人とモノの持続可能なコネクテッドモビリティに関わる先進的な技術やサービスを開発しています。1871 年の創業以来、テクノロジーカンパニーとして、安全性、効率性、インテリジェンスを兼ね備えたアフォーダブルなソリューションを自動車、機械、交通、輸送のために提供しています。2018 年度の売上高は 444 億ユーロで、世界 60 の国と地域に約 24 万 4 千人以上の従業員を擁しています。

<https://www.continental-corporation.com/en>

【コンチネンタル タイヤ部門】

コンチネンタル タイヤ部門は現在、全世界に 24 カ所の生産および開発拠点を有しています。約 5 万 6 千人の従業員を擁する世界有数のタイヤメーカーであり、2018 年には 114 億ユーロの売上げを計上しました。タイヤ製造の技術リーダーであり、乗用車、商用車、二輪車の幅広い製品ラインを提供しています。コンチネンタルは、研究開発への継続的な投資により、経済的で環境にやさしいモビリティに大きく貢献しています。タイヤ部門のポートフォリオには、商業車用タイヤのデジタル管理システムだけでなく、タイヤ取引および車両アプリケーション向けのサービスも含まれます。

<https://www.continental-tires.com>

【スポンサーシップ】

コンチネンタルは、ツール・ド・フランスのオフィシャルパートナーです。

日本語公式サイト: <https://www.continental-tire.jp>

日本語公式 Facebook ページ: <https://www.facebook.com/continental.japan>

日本公式 YouTube ページ: https://www.youtube.com/channel/UC2mp8bKnBuBVFz55tLsM_Xg